

# 富山市総合計画審議会「第4回 活力・交流部会」 議事録

日時：2016年10月27日（木）14:00～15:00

場所：富山市役所 第3委員会室

出席者：(順不同)

長尾治明	富山国際大学現代社会学部現代社会学科教授（部会長）
庵栄伸	一版社団法人富山県銀行協会会長
鵜殿裕	株式会社日本政策投資銀行富山事務所所長
太田勝久	富山公共職業安定所所長
桑山比呂志	日本労働組合総連合会富山県連合会富山地域協議会議長
酒井富夫	富山大学極東地域研究センター教授
平井丈夫	大山地域自治振興会連合会会長
渡辺孝子	公募委員

企画管理部	本田部長、西田次長、中田次長、前田参事、井村主幹
都市整備部	谷口理事
商工労働部	太田次長
福祉保険部	作田次長
農政企画課	池口課長
教育総務課	広瀬課長

議事内容：

1. 開会
2. 第2次富山市総合計画前期基本計画（案）について

「第2次富山市総合計画前期基本計画（案）」の修正等について事務局より説明。

部会長

- ・ 事務局の修正案を踏まえ、さらに修正や付け加えることがあればご意見をいただきたい。

委員

- ・ 前回農村にだいぶこだわったが、コミュニティビジネスを農業農村振興計画にもしっかりと位置づけなければならないと感じた。課題がはっきりしてきたように感じる。計画には様々な目標指標が記載されているが、認定農業者数のように「コミュニティビジネスの数」といった目標があっても良いのではないか。コミュニティビジネスは地域資源を生かしたビジネスであり、単なるボランティアとは違う。農林水産業の多面的機能を生かしたビジネスになるだろう。多面的という観点では景観等も重要な要素である。例えば、観光部門のグリーンツーリズムと連携した事業化、林業関係と連携した事業化やバイオエネルギーの取り組みも考えられる。

## 委員

- ・ 最近「10次産業化」という言葉が出てきている。6次産業+観光など、6次産業に文化的要素など新しい要素を加える考え方である。言葉遊びのようなものだが、そういった概念があることを紹介しておきたい。

## 委員

- ・ 6次産業は1次産業から3次産業を「足す」のではなく、「かける」ことでつくられている。1次産業があることによって成り立つもので、地域資源をベースとして考えることが重要だろう。

## 委員

- ・ 先日計画に対する住民説明会があったと思うが、活力・交流部会に関する意見は出たのか。

## 事務局

- 10月23日に住民説明会を実施した。30名ほどの市民に参加いただいた。
- 二人からご意見をいただいた。一つ目は、「富山市は8月2日～3日未明の大空襲から立ち直った歴史がある。亡くなった方の慰霊碑、資料館などを建立してほしい」という意見だった。もう一つは、「富山市だけが良くなるのではなく、富山市と周辺市町村がともに発展していくべきではないか」という要望だった。先ほど資料の中でご説明したとおり、防災や観光面での広域連携を進めているほか、富山市が始めた高齢者の外出機会創出に向けた取り組みが周辺市町村にも波及するといったことも出てきている。
- 他には、「安政の大地震など、過去の経験を踏まえた防災まちづくりをしているのかどうか」、大沢地域の耕作放棄地を市が買い上げ、来年度からエゴマなどの栽培を進めていこうとしていることについて、「神通川流域の汚染状況をしっかりと検証しているのか」という意見があった。富山県からは汚染物質は検出されていないと聞いている。

## 委員

- ・ ご感想でもかまわない。今後実行していくために魂を入れて取り組んでいくことになるが、今後についてご意見はないか。

## 委員

- ・ 今後、実施段階では住民への幅広い周知が重要である。企業としても悩ましいところだが、周知に向けた取り組みのアイデアがあればご提示いただければと思う。
- ・ 先週、商工会議所と創業に関する連携協定を結んだ。その際にマスコミも入っていた。マスコミの積極的な活用は情報発信において有効だと思う。富山市としてもマスコミの機能のさらなる活用方法を考えてはどうか。

## 部会長

- ・ 富山市の新しい方向性を打ち出し、積極的にマスコミを通じた発信をしていくというのも一つの方法だろう。

## 委員

- ・ コミュニティビジネスをつくるのは非常に難しい。企業のCSRに留まらない、もう一段上の社会性とビジネス性が求められる。人材の育成や確保をしっかりとしなければ、コミュニティビジネスの実現は難しいと思う。ぜひ積極的に取り組んでいただきたい。

## 部会長

- ・ イベント的な集客はできるだろうが、それをビジネスにつなげていくことは難しい。ビジネスとして今後どのように育てていくのか、人材育成や啓蒙、教育といった観点も含めて取り組んでいく必要がある。地元にお金が落ちる仕組みを作るのは容易ではない。

**事務局**

- 11月28日（月）10:00より全体会の開催を予定している。詳細は後日ご案内する。

以上